

夢の全国大会を目指し 一丸となつてつなぐボール

「バレーボールはチームワークが必要不可欠です。チームみんなで全国大会出場という目標に向かって練習に励んでいます」と話すのは、ママさんバレーボールチーム「甲佐わかあゆ」の監督・古

田久里子さん（大町区）。平成元年に発足し、現在は約15人のメンバーで、ほとんどが子どもを持つお母さんのチーム。週2回、乙女小学校と甲佐小学校の体育館に集まり練習に汗を流している。



「甲佐わかあゆ」チーム

Kosa Wakaayu

こうさわかあゆ / ママさんバレーボールチーム。第46回全国ママさんバレーボール大会県予選3位。来年1月の九州ブロック大会に出場する。

〔ママさんバレーボール〕

「家庭の理解があつてこそ大好きなバレーが続けられるし、子どもを連れて来てもプレイできることがママさんバレーのいいところです」と古田さん。「チームの雰囲気は良くして和気あいあいとプレイできるので、未経験者でもバレーが好きなら気軽に参加できます」とチームの魅力を笑顔で語る。

同チームは、5月16日

（土）に山鹿市で開催された第46回全国ママさんバレーボール大会県予選で3位に入賞し、来年1月に福岡県で開催される九州ブロック大会に県代表として出場する。「試合の時には、メンバー1人1人の状態を把握して指示を出すよう心掛けています」と語る古田さん。「県予選では、メンバー全員が期待に応えてくれて、とてもいい試合ができました」と振り返る。

同チームのキャプテンを務める松永有紀さん（下横田区）は、「家事と仕事と両立しながら練習をするのは大変ですが、チームみんなががんばって九州大会の切符を手に入れることができました。まずは1勝を目標にして1歩ずつ上を目指したいです」と意気込みを語る。

全国大会出場の夢を目指してボールを追う「甲佐わかあゆ」チーム。古田さんは「チームの仲間との連携が重要なママさんバレー。みんなで支え合い競いながら、これからも楽しくプレイを続けていきたいです」とチーム一丸でコートに臨む。